



広島陵北ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB HIROSHIMA-RYOHOKU

The Weekly Report



インスピレーションになる
国際ロータリー 2018-2019 テーマ
会長 パリー・ラシン

クラブテーマ

こころゆたかなロータリアン

本年度会長方針

和を以って拡げようロータリーの輪

第1320回例会 2018年10月10日 No.1290号

会長時間



会長 高野憲一郎

皆様こんにちは、一週間ぶりですが如何お過ごしでしたか。御来客の皆様、ようこそお越し頂きました。最後までごゆっくりとお過ごし下さい。

さて、今月のロータリーテーマは「経済と地域社会の発展」です。この「経済と地域社会の発展」は、ロータリーの6つの重点分野のひとつに挙げられていますが、ここで言います「地域社会の発展」とは主に発展途上国における貧困層地域の発展を指しています。これらの地域に私達が直接かかわる事は難しい

ですが、ロータリー財団への寄付を通じて現在どのような支援活動を行っているかを把握する必要はあるのではないかと思います。今月のガバナー月信の記事によりますと、貧困層地域において「生産的で十分な収入をもたらす雇用機会の創出と自立を促しリーダーとなる人材を育てる」ということを重点的に取り組んでいるようです。

さて、ロータリーの重点テーマからはちょっとはずれますが、先週の会長時間でカーブ優勝の経済効果について簡単にお話ししましたが、カーブ優勝の翌日に本通りにてサンフレッチェの関係者が「エディオンスタジアムへサンフレッチェの応援に来てください」とビラを配られていました。カーブに比べるとどうしても注目度が低いですが、サンフレッチェも現在優勝にむけて熾烈な順位争いを繰り広げています。J1リーグも残すところ5試合です。是非とも皆さんで応援しまして今年はカーブ、サンフレッチェの同時優勝を達成させましょう。広島は地方都市でありながら、野球、サッカー、バレー、バスケット、ハンドボールなどプロレベルの競技団体が数多く存在しています。それらのスポーツのトップレベルを体感できるということは非常に恵まれていると思います。我々のような立場の者が率先して盛り上げていかなければなりませんね。

さて本日の卓話は田中節子文化学院の田中節子様です。田中節子文化学院では着物着付けのプロの養成や企業マナーの研修などを行っておられます。日頃は浴衣以外はなかなか着る機会も少ないですが、日本における着物文化は永遠に続くものだと思います。今日は着物を通じての貴重なお話を頂戴したいと思います。田中様、宜しくお願いします。

これで本日の会長時間を終わります。ありがとうございました。



10月17日のプログラム

広島信用金庫 地域交流部 岡山直樹様

10月24日のプログラム

公益財団法人広島市文化財団 学芸員 吉田文様

出席報告 (例会運営委員会)

10月10日出席者

会員総数	52名
出席会員	37名
欠席会員	12名
ご来賓	1名
ご来客	0名
ゲスト	0名

幹事報告 (村上 知史)

1. お知らせ

・近年入会会員研修セミナーを11月9日(金) 18:30から「むさし土橋店」にて開催をいたします。出欠は回覧にてお願いいたします。

・11月21日(水)の例会を11月17日(土)変更し、「広島市小学生体育連盟陸上教室」支援活動を行います。

出欠は回覧にてお願いいたします。

と き 11月17日(土) 11:45集合
ところ エディオンスタジアム広島

・新会員候補者通知文を配布しております。個人情報となりますので、お取り扱いにご注意ください。

来賓卓話



田中節子文化学院 主宰 田中節子様

カーブ、リーグ三連覇おめでとうございます。街を元気に、人を元気に、赤のシンボルマークカラーを全国に、大いにアピールで、スゴイ！！東京新宿生まれ、銀座の広告代理店でOL体験七年。深田公之さん（作詞家・阿久悠）と同フロアで、新鮮で楽しく時を共有出来ました。彼は私より二年後に退職したと聞きました。ペンネームも彼らしい”シャレ”を受け止めました。企画部に属し、コピーライターが主たる位置に居られた無口で目立たない存在だった彼は、黙々と努力

した筈です。読書家で、行動力は、多くを語らずもチャンスをしっかりつかむ為の人間関係構築を努めて、時を送り続けた筈です。プロダクションを擁した会社でしたので、野球観戦チケットも容易に手に入り、巨人・広島戦は観戦希望者が無しで人気なかった事を思い出します。映画関係者を含む、著名な方々に出会えた事は私に大きな財産になりました。同社に出入りいた方のスカウトでまったく未知の世界に入る事を決心、修練の時を持つ為、京都へ周囲の反対を背に、前をスタートしました。”現代のきものはと言うと、明治維新は日本の歴史の大転換期であり、西洋文化の流行により明治六年には政府より法令が出され、洋服が流行し始めましたが、女性は和服、ヘアスタイルも簡単な方向に向かいます。袴の下に締めあげブーツ等が、当時のなつかしい女学生姿でした。昭和八年女子学生が洋服になって、急速に洋服が一般化され、戦後は、和服は礼服に、お洒落着にという方向へ向かっているようです。

食文化に於いても、奈良時代から一三〇〇年にわたり、箸中心の食生活が基本であり、日本人の器用で繊細で、しかも知的レベルの高い国民性は「箸使い」の上に形成された「手の文化」とも言えるのではないのでしょうか。「手は第二の脳」とも言われるように、手先指先を動かすことが伴う、箸使いを美学を踏まえ、きもの同様、箸離れのスピードもゆるめて行くべきだと思っております。

ニコニコBOX

SMILE BOX

信原弘会員 高野憲一郎会員 村上知史会員 菅泰晶会員 三戸治郎会員

田中節子様、本日は卓話を頂き有難うございます。宜しく願い致します。

吉田壽美枝会員

本日は田中節子先生に卓話をお願いしました。ありがとうございます。今日はどのようなお話が拝聴できるかとても楽しみです。

三村直雅会員 賀谷俊幸会員 南條泰会員

先週は龍山さんには失礼をしました。理由は職業奉仕委員会担当の四つのテストの唱和でした。委員長の三村が代表として謝ります。

堀江正憲会員

全国労働衛生週間に「Team（チーム）がん対策ひろしま」登録企業の講演を企業と祇園西公民館でしました。

小川嘉彦会員

10月7日で結婚して40年が経ちました。久しぶりに家内と二人で食事に行きました。

当日計

19,000円

累計

412,000円